

節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
1	川副クラブ	H	△0-0	まず、今季も九州リーグが無事開催できることに心から感謝申し上げます。 第1節は川副クラブに0-0でスコアレスドロー。今季優勝を目標に掲げる中で厳しいスタートとなりました。 第2節は日本製鐵大分に4-0で勝利。前日からの反省を活かし、少しは改善できたかと思えます。 多くの新加入選手もいますが、この2試合で九州リーグ（地域リーグ）の厳しさを感じることができたことをプラスに捉え、次節に備えたいと思います。
2	日本製鐵大分	A	○4-0	そして、九州サッカーリーグ関係者の皆様、大分県サッカー協会社会人委員会の皆様、準備・運営に携わっていただいた皆様、ありがとうございました。 運営面などでご迷惑をおかけしたチームの皆様には申し訳ございません。 次回の集中開催には改善できるようにしますので、今季も引き続きよろしく願いいたします。
3	KMGホールディングス	H	○4-1	第3節はホームでKMGホールディングスFCとの試合でした。 試合開始から全体的に動きが重く、なかなかうまく試合に入れなかったように見えてましたが、セットプレーから得点し、前半を終えました。 後半は少しずつ修正出来てきた中でミスから失点。そんな中でも選手は慌てずプレーし続け、追加点を奪い試合を終えることができました。 毎試合、トライ&エラーを繰り返し成長していけるようにまたトレーニングに励みます。次節は初のアウェイゲームとなりますが連勝できるように準備していきます。 最後になりましたが、KMGホールディングスFCの皆様、審判団、ボールパーソン、運営に携わっていただいた皆様、会場やLIVE配信で応援をいただいた皆様、ありがとうございました。
4	Brew KASHIMA	A	○4-0	第4節はアウェイでBrew KASHIMAとの試合でした。 チーム事情もあり、メンバーが少し変わった中でも無失点で勝利できたことは大きな収穫でした。 課題は変わらずありますが、1試合1試合成長できている部分もあるので、継続してトレーニングしていきたいと思えます。 Brew KASHIMAの皆様、審判団、ボールパーソン、運営に携わっていただいた皆様、会場やLIVE配信で応援をいただいた皆様、ありがとうございました。 最後になりますが、鹿島産の新玉ねぎをたくさんいただきました！選手達も非常に喜んでいました。ありがとうございました。
5	NIFS KANOYA FC	H	○4-1	第5節はホームでNIFS KANOYA FCとの試合でした。 試合の入り方がチームの課題ではありましたが、今節は試合の入り、前半の戦い方は良かったと思えます。 そんな中、リードした後の試合運びや後半の戦い方は納得いく内容ではありませんでした。 このような試合をしてしまったことは自身の大きな反省点です。しっかりと反省し、また次節の準備をしたいと思えます。 選手は日々努力しています。目指すべき場所が高い分、選手に求めることも多くなりますが、共に成長していきたいと思えます。 最後になりましたが、NIFS KANOYA FCの皆様、審判団、ボールパーソン、運営に携わっていただいた皆様、会場やLIVE配信で応援をいただいた皆様ありがとうございました。
6	九州総合スポーツカレッジ	A	○9-0	第6節はアウェイで九州総合スポーツカレッジとの試合でした。 結果的には9-0という試合でしたが、良かった部分は継続し、課題はトレーニングで修正する。ということは変わらず続けていきたいと思えます。 次節からは上位陣との戦いが続きます。しっかり勝ち切ることを意識して全員で準備します。 最後になりましたが、九州総合スポーツカレッジの皆様、審判団、ボールパーソン、運営に携わっていただいた皆様、会場やLIVE配信で応援をいただいた皆様、ありがとうございました。
7	ヴェロスクロノス都農	A	●1-2	第7節はアウェイでヴェロスクロノス都農との試合でした。 首位攻防戦で負けられない一戦でしたが、1-2で敗戦となりました。 試合の入り方、ゲームの進め方、拮抗した試合を勝ちに持ってくる力、個人の部分、チームとしての部分とまだまだ足りない部分があるということを教えていただきました。 しかし、まだリーグは終わっていないので、最後に目標を達成できるようまた全員でトレーニングに励みたいと思えます。 最後になりましたが、ヴェロスクロノス都農の皆様、審判団、ボールパーソン、運営に携わっていただいた皆様、会場やLIVE配信で応援をいただいた皆様、ありがとうございました。

節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
8	FC延岡AGATA	H	○2-0	第8節はFC延岡AGATAに2-0で勝利。第9節はKAJIKI F.C.に5-0で勝利と前期を2連勝で終わることができました。9試合を戦い、課題もはっきり分かったので、後期に向けてまたチーム全員で共有し、トレーニングをしていきたいと思えます。
9	KAJIKI F.C.	H	○5-0	FC延岡AGATA、KAJIKI F.C.、審判団、ボールパーソン、九州サッカーリーグ関係者の皆様、佐賀県サッカー協会社会人委員会の皆様、準備・運営に携わっていただいた皆様、ありがとうございました。
10	川副クラブ	A	○1-0	九州リーグ第10節、11節は大分集中開催で川副クラブ、日本製鉄大分サッカー部との試合でした。2日間で勝ち点6を得ることが出来たのは良かったですが、内容や得失点差を考えると課題も残る2試合となりました。もっともっと相手を攻守において圧倒できるようにしていきたいと思えます。
11	日本製鉄大分	H	○5-0	また来週も試合があるので、まずは疲れをしっかり取り、次節に向けて準備します。川副クラブ、日本製鉄大分サッカー部、審判団、ボールパーソン、大分県社会人委員会の皆様、運営に携わって頂いた皆様、ありがとうございました。
12	KMGホールディングス	A	○4-1	九州リーグ第12節はKMGホールディングスFCとアウェイでの試合でした。気温、湿度ともに非常に高く、人工芝での試合だったので、体力と気力を奪われやすい環境でしたが、そんな中でもアグレッシブにプレーしようと選手を送り出しました。結果は4-1で勝利し、良いプレーもたくさん見られましたが、1失点に表れているようにまだまだ隙があるし、ディティールにこだわってプレーしなければ、もう一つ上のステージに行くには厳しいと感じます。良かった部分と課題は選手と共有し、またトレーニングしていきます。KMGホールディングスFC、審判団、ボールパーソン、運営に携わっていただいた皆様、そして、会場へお越しいただいた多くの方々。ありがとうございました。
13	Brew KASHIMA	H	△1-1	九州リーグ第13節はホームでBrew KASHIMAとの対戦でした。暑さも増してくるが、相手を圧倒できるようにとゲームに挑みましたが、先制点を許し、最後に何とか追いつき、1-1の引き分け。大事なことは、なぜこのような結果になってしまったのかをしっかりと見極め、反省することと、次節に向けて前を向き準備することです。残り5試合を死に物狂いで戦いたいと思えます。多くの方の支えがあるということ、何のためにここでプレーしているかを一人一人がもう一度胸に刻みプレーしてほしいと思えます。Brew KASHIMA、審判団、ボールパーソン、運営に携わっていただいた皆様、イベント開催にご協力いただいた皆様、悪天候の中、応援して下さったたくさんの方々の皆様、ありがとうございました。
14	NIFS KANOYA FC	A	○5-1	九州リーグ第14節はアウェイでNIFS KANOYAとの試合でした。前節引き分けてしまったため、残りの試合を勝つしかない状況の中で、勝ち点3を得ることができました。まだまだ課題もありますが、結果を残せたことや新たな発見やチーム内で競争が激しくなっていることはチームとしては嬉しい悩みです。ここから暑さも増してくるので、全員で戦っていきます。NIFS KANOYA FC、審判団、ボールパーソン、運営に携わっていただいた皆様、鹿児島まで足を運んでいただいて応援して下さった皆様、ありがとうございました。
15	九州総合スポーツカレッジ	H	○10-0	九州リーグ第15節はホームで九州総合スポーツカレッジとの試合でした。猛暑の中、試合開始早々にアクシデントもあった中で、選手たちが最後まで走り切り戦った結果、勝ち点3を得ることができました。試合を増すごとに相手を観て、試合を進める対応力や修正力に加え、日頃から激しい競争の中で生まれる緊張感や責任感が増してきたと思えます。結果と内容をコンスタントに高いレベルで発揮できるようまたチーム全員でTRに励みます。来週はいよいよ首位とのゲームです。すべてを出し尽くせるようにまた1週間準備したいと思えます。最後になりましたが、九州総合スポーツカレッジ、審判団、ボールパーソン、運営に携わっていただいた皆様、猛暑の中、試合会場にお越しいただいた沢山の皆様、ありがとうございました。

節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
16	ヴェロスクロノス都農	H	● 0 - 2	九州リーグ第16節はホームでヴェロスクロノス都農との試合でした。 首位との大事な一戦ということは誰もが理解した上での試合でしたが、結果は0 - 2で敗戦。準備してきたことが出せた部分もありましたが、一瞬の隙を与えてしまい失点。拮抗した試合の中でのプレーの質や判断、試合の流れを読む力などがまだ足りないことを痛感しました。 リーグも1か月間空くので、日々のTRの中でどれだけ意識をもって取り組めるかが重要となります。最後まで諦めず、目標を達成できるようにチーム全員で前に進みます。 ヴェロスクロノス都農、審判団、ボールパーソン、運営に携わっていただいた皆様、またイベントを開催するにあたり協力いただいた方々、会場にお越しいただいた多くの皆様、暑い中、本当にありがとうございました。
17	FC延岡AGATA	A	△ 3 - 3	九州リーグ第17・18節は宮崎集中開催でアウェイでの連戦でした。 優勝の可能性は低かったですが、可能性のある限りはそこを目指して戦おうと挑みましたが、初日は3 - 3の引き分け。 2日目は5 - 1で勝利したものの、最終的には3位でリーグを終えることとなりました。 リーグ戦を通して、まだまだ自分たちの力のなさ、甘さや覚悟が足りないことに気付かされました。
18	KAJIKI F.C.	A	○ 5 - 1	それでも選手は必死に戦ってくれました。その頑張りを無駄にしないよう、これを糧に更に成長していけるように努力し、前に進んでいきたいと思えます。 今回、宮崎集中開催にあたり携わっていただいた全ての皆さまに感謝すると共に、リーグ戦を無事に終わられたことは、各チーム、九州社会人委員会、各県の社会人委員会の皆様、審判団、ボールパーソンなど多くの皆様のおかげです。本当にありがとうございました。